



2026年8月10日

各位

会社名 株式会社小田原エンジニアリング
代表者 代表取締役社長 保科雅彦
(コード番号 6149 東証スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 管理部次長 小泉紳一
(電話 0465-83-1122)

2026年12月期中間連結会計期間の 業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期中間連結会計期間の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年12月期中間連結会計期間の業績予想数値と実績値との差異

(2026年1月1日～2026年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	950	980	680	118.85
今回発表実績(B)	8,414	1,510	1,568	1,133	197.99
増減額(B-A)	914	561	588	454	
増減率(%)	12.2	59.0	60.0	66.7	
(ご参考)前期中間期実績 (2025年12月期中間期)	10,359	2,044	2,044	1,427	249.98

2. 予想数値と実績値との差異の理由

(1) 中間連結会計期間実績差異の理由

売上高につきましては、巻線機事業において、下期に売上を予定していた一部の案件を前倒しで売り上げたことや、消耗品・予備品が海外顧客向けを中心に好調に推移したことに加え、送風機・住設関連事業において、工作機械やロボット向け軸流ファン及び倉庫向けビッグファンの受注が引き続き好調に推移したこと等により、前回発表予想を上回りました。

利益につきましては、巻線機事業において、下期に売上を予定していた一部の案件を前倒しで売り上げたことに加え、送風機事業が好調に推移したこと等により、前回発表予想を上回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正等

巻線機事業において、下期に売上を予定していた一部の案件を前倒しで売り上げたため、売上高及び利益が上期に集中しました。この反動に加え、受注済み案件についても来期に売上を予定しているものが多いことにより、下期の売上高が減少する見込みの中、先を見据えた研究開発を継続することなどから、販売費及び一般管理費は一定水準で推移するため、下期は損失を見込んでおります。また、中東情勢の緊迫化をはじめとする地政学的リスク、金融資本市場や為替の変動、原材料やエネルギー

価格の上昇及び高止まりなど、事業環境は依然として先行き不透明な状況にあります。これらを踏まえ、利益が通期連結業績予想を上回っているものの、通期連結業績予想につきましては、修正していません。今後、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに開示する予定であります。

以 上